

第112期

報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第112期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

よろしくご高配賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

吉川善治

Yoshiharu Yoshikawa



Q

当期の事業環境について
お聞かせ下さい。

A

強弱をつけたメンテナンス投資や設備
投資が行われました。

平成28年3月期の経済環境は、原油安や円安の効果などによる企業収益の改善もあり、雇用情勢の回復や設備投資の持ち直しの動きも見られるなど、

全体的には景気回復基調の中で推移しました。

海外経済では、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気に減速傾向が見られましたが、先進国を中心として緩やかな成長が続きました。

当社グループの主要顧客である石油業界では、原油安に伴う在庫評価損による業績影響を受ける中、国内市場の縮小や設備過剰への対応を促す第二次「エネルギー供給構造高度化法」への対応の結果と

して、石油各社の経営統合・再編が相次ぎ公表され、国内の石油業界は大きく集約されることとなりました。

また、石油化学業界では、原油安を背景とする原料価格の下落や高機能製品の輸出の伸びにより業績が改善。国内エチレン設備の稼働率も高い水準を維持しましたが、石油業界と同様に国内市場の縮小と設備過剰解消のため、エチレン設備をはじめとする過剰設備の廃止・不採算事業の撤退を進めました。

このような環境下で石油・石油化学業界全体では、強弱をつけたメンテナンス投資や設備投資の対応が行われました。

業績につきましては、受注高(エンジニアリング業)は前期比6.7%増の922億1百万円、完成工事高は前期比5.0%増の894億91百万円となりました。完成工事高の内訳は、エンジニアリング業では、石油・石油化学関係で670億36百万円、一般化学・薬品・食品・電力等の一般工業関係で223億13百万円となりました。

損益面では、大型の改造・改修工事や新規設備工事に対応するために事業所と国内プロジェクト部が連携した社内ジョイントベンチャーを編成し、収益管理の徹底を図ったことや、仕掛工事を含めた工事全体量の増加に伴う稼働率の向上が工事収益の改善につながりました。さらに材料費、労務費、外注加工費などの直接コストの低減や間接費および一般管理費の圧縮による間接コストの低減を図るなど、徹底したコスト削減も推進しました。営業利益は前期比46.8%増の67億92百万円、経常利益は前期比30.2%増の65億91百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比29.6%増の38億97百万円となりました。

当社単体では、受注高は前期比5.7%増の864億16百万円、完成工事高は前期比2.1%増の815億1百万円、営業利益は前期比42.4%増の61億68百万円、経常利益は前期比38.6%増の61億46百万円、当期純利益は前期比45.0%増の37億41百万円となりました。



当期の業績について
お聞かせ下さい。

A 厳しい事業環境の中で、工事収益の改善を推進し、増収増益となりました。

石油・石油化学プラント市場が縮小傾向を深める中で、当社グループでは、プラントの高経年化・事故防止・安定稼働などの観点からの日常保全工事やプラント強靱化対策工事、精製能力の削減や設備廃止に伴う改造・改修工事、コンビナート連携や競争力のある製品生産のための新規設備工事などの投資需要の受注確保に努めました。連結ベースの

事業セグメント別の完成工事高内訳

(単位：百万円)

完成工事高	第112期 (平成28年3月期)	第111期 (平成27年3月期)	前期比 (%)
エンジニアリング業	89,349	85,065	5.0
石油・石油化学関係	67,036	64,819	3.4
一般工業関係	22,313	20,246	10.2
その他の事業	141	176	△ 19.5
合計	89,491	85,241	5.0

工事種類別の完成工事高内訳（その他の事業分を除く）

(単位：百万円)

完成工事高	第112期 (平成28年3月期)	第111期 (平成27年3月期)	前期比 (%)
エンジニアリング業	89,349	85,065	5.0
日常保全工事	23,695	22,107	7.2
定期修理工事	31,202	33,458	△ 6.7
改造・改修工事	24,617	22,926	7.4
新規設備工事	9,834	6,573	49.6

株主還元

継続性および安定性を充分留意した配当を実施しております。

	1株当たり配当金	連結配当性向
第112期(平成28年3月期)	30円	35.6%



を見込んでいます。

また、当社グループでは「第6次中期計画－メンテナンスとエンジニアリングによるソリューション・サービス提供企業」を策定しました。国内外で「全ての設備に対応できるエンジニアリング能力を備えた『総合プラントメンテナンス企業』」として、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

なお、株主配当につきましては、30%以上の配当性向(連結)を目標としており、次期(平成29年3月期)の予定額についても年間30円としております。この配当額は、平成25年3月期から継続している安定配当です。

株主の皆様には、なお一層のご愛顧とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月



次期の事業環境は
いかがでしょうか？



当社の強みを活かした第6次中期計画を
推進していきます。

今後も石油・石油化学業界では、業界再編の流れの中で、メンテナンス費用および設備投資は、前期同様に強弱をつけた対応が予想されますが、次期(平成29年3月期)は、定期修理工事の繁忙期にあたるために、平成28年3月期を上回る完成工事高

2016年度を初年度とする「第6次中期計画(2016年度～2018年度)-メンテナンスとエンジニアリングによるソリューション・サービス提供企業へ」を策定いたしましたので、その概要についてお知らせいたします。

第5次中期計画の総括

新興プラントックグループは、第5次中期計画（2013年度～2015年度）において、「全ての設備に対応できるエンジニアリング能力を備えた『総合プラントメンテナンス企業』」を目指し、「既存顧客に対するメンテナンスシェアの拡大」、「新規分野・新規顧客の開拓」、「海外事業の基盤強化」の3点の事業戦略目標を掲げ取り組んでまいりました。

既存顧客に対するメンテナンスシェアの拡大

- 既存顧客の未参入工場への常駐事務所の設置や日常保全工事へ参入
- 重点カテゴリーのタンク関連工事について、従来受注のなかった既存顧客から新たにタンク関連工事を受注
- プラントの信頼性向上や高経年化対策、高効率化などの大型の改造・改修工事や新規設備工事に対して、事業所と国内プロジェクト部が連携した社内ジョイントベンチャー体制を整え、受注を確保

新規分野・新規顧客の開拓

- エンジニアリング能力・技術を生かした提案型の営業とFS・FEED^(※)業務からの参画により、化学系を中心とした顧客の新規開拓に成果
- 新規分野の開拓として例示した食品・ガス(LNG)・電力業界においては十分な成果には至らなかったが、一部ガス分野の顧客に対する日常保全工事の新規参入の成果

※FS…Feasibility Studyの略。プロジェクトの実現可能性を事前に調査・検討すること。

FEED…Front End Engineering Designの略。FSで決定された事業設備計画（プラントのキャパシティ、装置構成など）に沿って遂行されるプラントの基本設計のこと。

海外事業の基盤強化

- 海外の新規設備工事案件に対して、営業段階から見積・原価管理・工事計画・組織編成までの工事手順を整理
- インドネシアでは、プラント増設によるメンテナンス需要の拡大に対応し、子会社において設備の更新などのメンテナンス基盤を充実し、受注体制を強化
- 中国では、子会社との連携体制を強化し、大型プロジェクトを相次ぎ完成。新たなプロジェクト案件の受注やメンテナンス工事の引合へと繋がる



業績結果

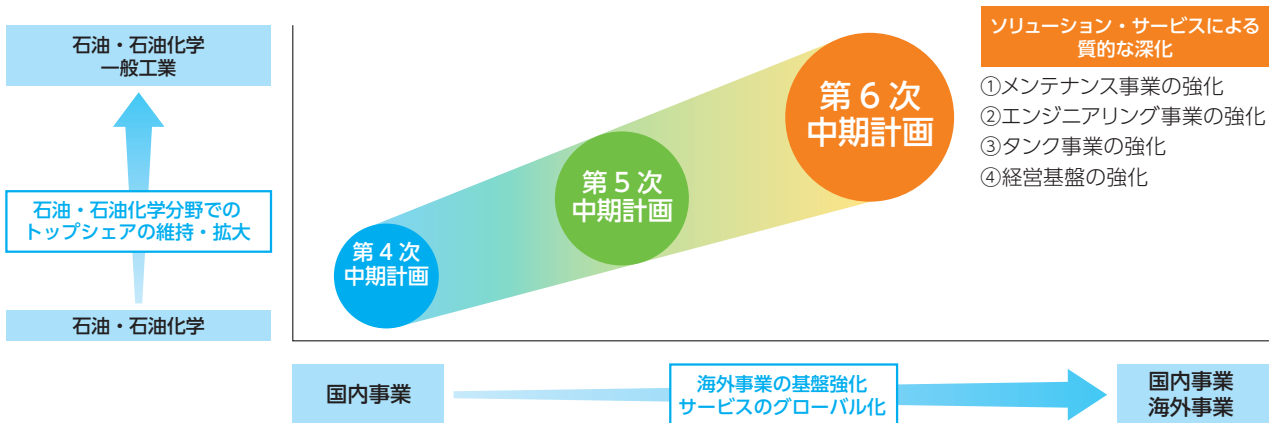
メンテナンスコストや設備投資の抑制の影響を受け、第5次中期計画の最終年度である2015年度（平成28年3月期）の完成工事高は、業績目標として設定した1,000億円には届かず、「業績計画」については未達の結果となりましたが、配当については配当計画の1株当たり30円を継続してまいりました。

第6次中期計画 (2016年度～2018年度) メンテナンスとエンジニアリングによるソリューション・サービス提供企業へ

2016年度を初年度とする第6次中期計画 (2016年度～2018年度) では、「メンテナンスとエンジニアリングによるソリューション・サービス提供企業へ」と題し、メンテナンスおよびエンジニアリングにおける技術や施工などのサービス提供力の高度化を図り、多様化する顧客のニーズに最適なソリューションサービスを提供してまいります。

経営方針

『全ての設備に対応できるエンジニアリング能力を備えた「総合プラントメンテナンス企業」』を目指す



経営ビジョン

当社グループはOne to One Maintenanceの事業コンセプトのもと、全ての設備に対応できるエンジニアリング能力を備えた『総合プラントメンテナンス企業』として、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図る。

メンテナンスおよびエンジニアリングにおける技術や施工などのサービス提供力の高度化を図り、多様化する顧客のニーズに対応した的確なソリューション・サービスを提供する。

石油・石油化学分野におけるトップシェアの維持・拡大はもとより、化学、食品、医薬分野における専門性の高い技術の蓄積と実績を積み上げ、事業ポートフォリオの更なる多様化を推進し、将来に向けた成長と経営基盤の強化を図る。

受注戦略

顧客のニーズに対応した的確なソリューション・サービスを提供

受注戦略1.

メンテナンス事業の
強化による受注拡大

受注戦略2.

エンジニアリング事業の
強化による受注拡大

受注戦略3.

タンク事業の
強化による受注拡大

受注戦略1 **メンテナンス事業の強化による受注拡大**

- ① 既存顧客におけるメンテナンスシェアの維持・拡大
- ② 未参入・未常駐工場への参入
- ③ 新規常駐事務所の開設

受注戦略2 **エンジニアリング事業の強化による受注拡大**

- ① FS・FEED業務からの参入による中小規模プラント建設工事の受注拡大
- ② 過去の特許工事の実績を活かした大型装置における改造・改修工事の受注拡大
- ③ 一般化学を中心とする新設投資案件の受注拡大

受注戦略3 **タンク事業の強化による受注拡大**

- ① タンク工事の受注拡大
- ② 未参入工場への新規参入



経営基盤の強化

ステークホルダーおよび社会からより一層信頼される企業を目指し、以下の取り組みについて引き続き推進してまいります。

- ① 無事故・無災害の達成
- ③ グループガバナンスの強化
- ② 品質トラブル・ゼロの達成
- ④ 業務改革による効率化

第6次中期計画最終年度(2018年度 平成31年3月期)業績目標

①【業績計画】

連結	(単位：億円)
	2018年度目標
受注高	950
完成工事高	950
営業利益	66.0
(率)	6.9%
経常利益	67.0
(率)	7.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	40.0
(率)	4.2%

②【経営指標の目標値】

自己資本当期純利益率 (ROE)	9%以上
配当性向 (連結)	30%以上

③【投資計画】

フリーキャッシュ増加額 114億円



110億円

成長戦略投資	・ 新規分野、新規事業の開拓
	・ M&A、技術提携、特許取得
	・ 研究開発
経営基盤強化	・ 特殊機械、器具などの新規導入
	・ 新規事業拠点設置
	・ 固定資産更新
配当	連結配当性向30%以上の目標
その他	その他

2015年10月、おかげさまで新興プランテックグループは誕生から15周年を迎えました。これからも「全ての設備に対応できるエンジニアリング能力を備えた『総合プラントメンテナンス企業』」を目指し、さらなる挑戦を続けていきます。



2000年10月

新興プランテック株式会社誕生



2003年11月

中国に子会社「無錫興高工程技術有限公司」を設立



2007年3月

東京証券取引所市場
第一部銘柄に指定

2008年4月

「プラントメンテナンス業」が
日本標準産業分類に例示

2000▶

2003▶

2004▶

2007▶

2008▶

●「新興プランテック」の由来は？

「新興」は、合併を機会にプラントのメンテナンスおよびエンジニアリング業界において**新**しい風を**興**し、高度な技術力を基盤としたサービスを提供するという意味があります。

また、「プランテック」とは**プランニング・テクノロジー**あるいは**プラント・テクノロジー**を表したもので、プラント設備のライフサイクルを見据え、保有する技術・技能ノウハウを駆使し、当社の事業である「エンジニアリング」、「メンテナンス」、「改造・改修」をスパイラルアップ（継続的に改良・向上）していくという意味を盛り込みました。

「新興プランテック」という社名には、プロジェクトの計画段階から実際の工事まで、これまでに培ってきた技術・技能・ノウハウを駆使してお客様にご満足いただける技術サービスを提供していくという気持ちが込められています。

2004年11月

ISO9001の更新審査2000年版規格に対応

2004年4月

東北地方の拠点として、仙台事業所を開設

2009年11月

池田機工株式会社の株式を取得し、子会社化



2010年3月

磯子トレーニングセンター完成

2011年10月

株式会社東新製作所の株式を取得し、子会社化

2011年11月

「SPC_CARBER工法」が、「2011TPM優秀賞品賞」を受賞

2015年10月
15周年

2009 ▶ 2010 ▶ 2011 ▶ 2013 ▶ 2015 ▶

2010年11月

東海工機株式会社の株式を取得し、子会社化



2010年10月

新興プラントックグループ10周年
10周年を機に「One to One Maintenance」の
ロゴを制定



2013年3月

磯子屋外訓練施設に実習用タワー新設

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成28年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成27年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	56,590	53,089
固定資産	15,729	16,090
有形固定資産	10,936	11,321
無形固定資産	164	189
投資その他の資産	4,629	4,579
資産合計	72,319	69,180
負債の部		
流動負債	32,334	31,798
固定負債	2,756	1,953
負債合計	35,090	33,751
純資産の部		
株主資本	36,780	34,271
資本金	2,754	2,754
資本剰余金	1,688	1,688
利益剰余金	32,376	29,866
自己株式	△ 39	△ 38
その他の包括利益累計額	△ 110	666
その他有価証券評価差額金	493	911
為替換算調整勘定	△ 42	△ 234
退職給付に係る調整累計額	△ 561	△ 10
非支配株主持分	559	490
純資産合計	37,229	35,428
負債・純資産合計	72,319	69,180

連結損益計算書

(単位：百万円)

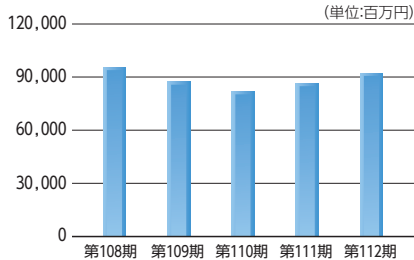
科 目	当連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	前連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
完成工事高	89,491	85,241
完成工事原価	79,058	76,886
完成工事総利益	10,433	8,354
販売費及び一般管理費	3,640	3,726
営業利益	6,792	4,628
営業外収益	275	623
営業外費用	476	188
経常利益	6,591	5,063
特別利益	0	222
特別損失	164	6
税金等調整前当期純利益	6,427	5,279
法人税、住民税及び事業税	2,464	2,578
法人税等調整額	△ 6	△ 335
非支配株主に帰属する当期純利益	72	30
親会社株主に帰属する当期純利益	3,897	3,006

連結キャッシュ・フロー計算書

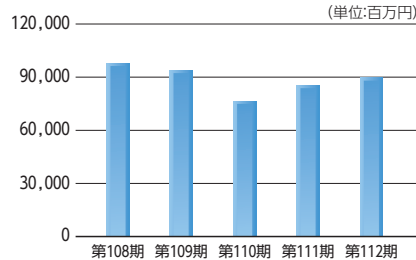
(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	前連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,548	8,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 374	361
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,662	△ 1,435
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 28	58
現金及び現金同等物の増減額	△ 517	7,943
現金及び現金同等物期首残高	20,203	12,260
現金及び現金同等物期末残高	19,686	20,203

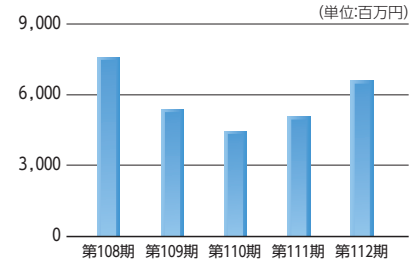
受注高



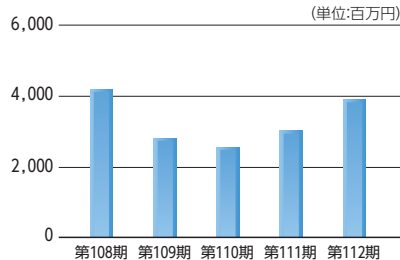
完成工事高



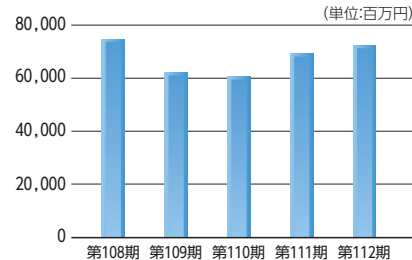
経常利益



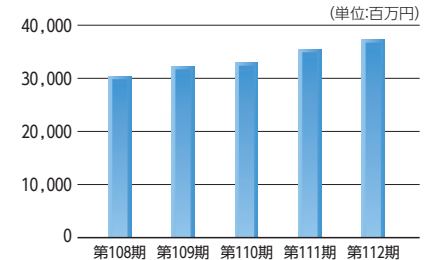
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産



純資産



(単位:百万円)

	第108期 (平成24年3月期)	第109期 (平成25年3月期)	第110期 (平成26年3月期)	第111期 (平成27年3月期)	第112期 (平成28年3月期)
受注高	95,906	87,433	81,766	86,374	92,201
完成工事高	97,850	93,845	76,275	85,241	89,491
経常利益	7,589	5,387	4,458	5,063	6,591
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,191	2,808	2,544	3,006	3,897
総資産	74,742	62,110	60,489	69,180	72,319
純資産	30,384	32,226	32,896	35,428	37,229

概要 (平成28年3月31日現在)

- 商号 新興プランテック株式会社
Shinko Plantech Co., Ltd.
- 本社所在地 〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町27番地 5
- 設立 1938年 (昭和13年) 7月20日
- 資本金 2,754,473,003円
- 上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 従業員数 連結 1,445名 単体 1,041名

ネットワーク (平成28年6月24日現在)

- 事業拠点 室蘭(室蘭市)、仙台(仙台市)、新潟(新潟市)、根岸(横浜市)、鹿島(神栖市)、千葉(市原市)、川崎(川崎市)、川崎TG(川崎市)、東海(静岡市)、名古屋(東海市)、大阪(高石市)、和歌山(有田市)、水島(倉敷市)、岩国(岩国市)、徳山(周南市)
- 子会社 新興総合サービス株式会社 (横浜市)
新興動機機械サービス株式会社 (横浜市)
エヌ・エス・エンジニアリング株式会社 (横浜市)
池田機工株式会社 (愛媛県西条市)
東海工機株式会社 (千葉県市原市)
株式会社東新製作所 (愛媛県新居浜市)
PT.SHINKO PLANTECH (インドネシア)
無錫興高工程技術有限公司 (中国)
SHINKO PLANTECH (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)

役員 (平成28年6月24日現在)

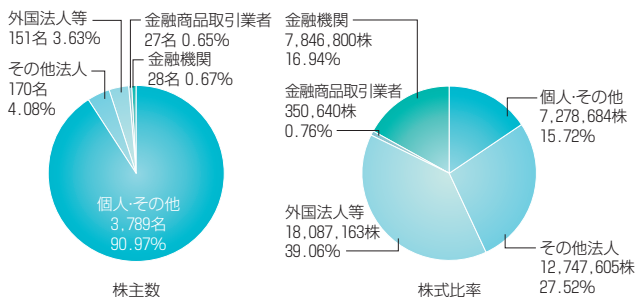
- | | | |
|---------------------|-------|-------------------|
| ●取締役 | | ●執行役員 (取締役兼務者を除く) |
| 代表取締役社長
執行役員社長 | 吉川善治 | 常務執行役員 岡部 学 |
| 代表取締役副社長
執行役員副社長 | 大友喜治 | 執行役員 杉井士郎 |
| 取締役
専務執行役員 | 池田俊明 | 執行役員 山本光男 |
| 取締役
常務執行役員 | 鳴瀧宣夫 | 執行役員 志賀啓介 |
| 取締役
常務執行役員 | 中沢信雄 | 執行役員 福久正毅 |
| 取締役
常務執行役員 | 鱈淵 彰 | 執行役員 関口佳成 |
| 取締役
常務執行役員 | 山内弘人 | 執行役員 有馬知秀 |
| 取締役
常務執行役員 | 佐藤琢磨 | 執行役員 毛利照彦 |
| 取締役
常務執行役員 | 嵐 義光 | 執行役員 中宅間大作 |
| 取締役
監査等委員 | 井手上信博 | |
| 取締役
監査等委員 | 木原 功 | |
| 社外取締役
監査等委員 | 二宮照興 | |
| 社外取締役
監査等委員 | 小松俊二 | |
| 社外取締役
監査等委員 | 布施雅弘 | |

- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 46,310,892株 (自己株式 83,018株含む)
- 株主数 4,165名 (前期末比299名減)
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
JXホールディングス株式会社	6,100	13.20
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	1,700	3.68
株式会社 N I P P O	1,500	3.24
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,464	3.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,364	2.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,300	2.81
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,188	2.57
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,051	2.27
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金信託口)	1,009	2.18
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE NVI01	951	2.06

(注) 持株比率は、自己株式 (83,018株) を控除して計算しております。

●所有株数別株式分布状況



株主メモ

- 決算期 3月31日
 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当を実施するときは9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
- (電話問い合わせ) 〒137-8081
 (および郵便物送付先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 公告の方法 電子公告といたします。但し、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
- 単元株式数 100株

Webサイトのご紹介

当社ウェブサイトでは、会社案内、サービス・製品事例・実績紹介、株主・投資家情報など、各ページにおいて、当社に関する情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。

トップページ



株主・投資家情報



株主・投資家情報ページでは、業績・財務情報、株式情報、決算説明会資料等のIR資料といった株主・投資家の皆様のための情報を掲載しております。

新興プランテック

検索

<http://www.s-plantech.co.jp/>